

保護者支援子育て支援科目

令和7年1月 東京都保育士等キャリアアップ研修

特定非営利活動法人ちゅーりっぷの心講師

一般社団法人保育栄養安全衛生協会講師

日本社会福祉マネジメント学会講師

人間総合科学大学 講師

栄養セントラル学院講師

認可保育園 顧問管理栄養士保育士 現職

五十嵐 条子

Nagako Igarashi

認可保育園の顧問管理栄養士 保育士 現職(医療的ケア児・しょうがい児・アレルギー対応を要する園児等～健常児 0～6歳 計130名程の在園児)。小児科等病院の管理栄養士～アレルギー児の親としての経験をもとに、皆様と医療・児童福祉の現代の事情に照らしながら、演習やグループワークを通して、保護者支援子育て支援“対応”について、現場の視点・親子の目線でご一緒に考えてゆきましょう。

グループワークを行うときのお願い

○分間程度/回※

♡簡単な自己紹介（※個人情報の保護に留意する視点から苗字のみ・園の規模・ご担当分野）をおっしゃってから、発言ください。※個人情報に類する内容はすべて口外されないよう共通理解のもとお願いします。

♡進行・取りまとめをしてくださるリーダー様をぜひお一人決めてください。ご協力をお願いします。

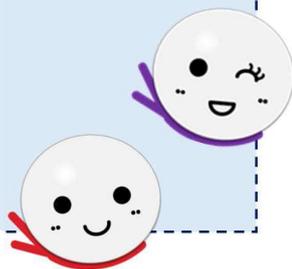
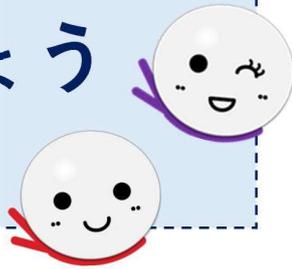
♡のどの調子や今はすぐに考えがまとまらない等の場合は、遠慮なさらずに“パス”も有で…、各々ご負担の少ない範囲で交えてください。

♡講師が皆様のグループワークのお部屋を巡回させていただく場合がございますが、お邪魔にならないよう、ご挨拶等をせず、無言で出入りをさせていただきます。講師がお部屋を巡回させていただくことがありますが、事務職員補助等は“居ないもの”として、メンバー間のワークに徹してください。



食の支援を必要とする子どもへの
園での対応そして保護者支援を
どのようにしていますか？

具体例を挙げて話し合みましょう



保護者の気持ち ＊ ＊ ＊ 事情 園の様子 ＊ ＊ ＊ 子どもの気持ち



いろいろな場面で 園と保護者との凸凹が…

コロナ以後
子育て支援センター等施設が利用しづらくなったため、食の講座等に参加した経験がぐんと減っている

子育てへの価値観や経験値の差が大きい保護者に対して、どのように寄り添っていくか 食支援や指導の枠を超えたかわりとは？

保育マインド

等身大の子どもに触れる機会が激減

¥経済面
働いていても生活が苦しい

保護者が乳児の食、幼児の食を知る機会に乏しい

生の環境での付き合いが激減

ミルク 離乳食・食具の移行・しょうがい・アレルギー・疾患等の情報に触れる機会が激減

見相等とのやりとりは上層部に限られ情報が共有しづらい

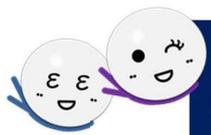
正しい最新の食育情報が保有しづらい保護者が多い

スマホ・アプリで育児をした方が、気兼ねがなく楽と感じる親の増

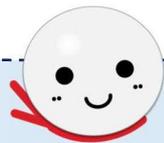
ご家族の子育ての経験値が脆弱な面を保育現場から支援しづらくなった（コロナ・職員のゆとりの無さ）

園では当たり前なことでも保護者は未知・難しいことが有る

親戚祖父母等に頼りにくくなった（コロナ～親もまた経済面の不安を抱えている）



グループワーク



園で講じている安全対策・その実際を、保護者に、どのくらいどのようにお伝えできていますか？

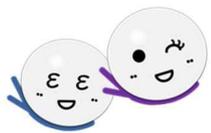
保護者が園の安全対策を普段からしっかりと知ることができるために、どのようなはたらきかけをしていますか？

好事例や課題・方法等について、話し合ってみましょう

～おもちゃの安全管理・もしものとき（地震等）

食物アレルギー・窒息・食中毒・不審者対応

保育室で～給食室で～事務室で～遠足で～お散歩等



方法と手段



園で講じている安全対策・その実際を、保護者に、どのくらいどのようにお伝えできていますか？

保護者が園の安全対策を普段からしっかりと知ることができるために、どのようなはたらきかけをしていますか？

～おもちゃの安全管理・もしものとき（地震等）

食物アレルギー・窒息・食中毒・不審者対応

保育室で～給食室で～事務室で～遠足で～お散歩等

保護者は正しく知っているでしょうか？

園と保護者との凸凹が…

保育士等キャリアアップ研修では、例えば乳児の定義を0～2歳、幼児を3歳以上で括られていますか…

食の分野では、年齢別に細かく刻んで対応・情報提供することはできていますか？

例えば…ハチミツは0歳児の給食では提供しないことの徹底と同様に家庭への周知徹底はされていますか？

ご家庭でも0歳児には死亡事故につながる可能性もあるため、乳児ボツリヌス菌症の重大事故を招かぬよう、0歳児にはハチミツを与えないことの情報を、全保護者へ共有説明できるよう徹底されていますか？

揺さぶられっ子症候群の認識の認識のように、園と家庭との認識の凸凹をまず知り、埋めていく保護者支援に努めることが大事です…

保護者は正しく知っているでしょうか？

ピーナッツ、炒り豆、

枝豆等の豆類、

アーモンド等の

ナッツ類などの

硬くてかみ砕く

必要のある豆やナッツ類は、**5歳以下の子**

どもには食べさせないでください

としています。



消費者庁では

消費者庁では、以下のように注意喚起をされています。
ピーナッツ、炒り豆、**枝豆等**の豆類、アーモンド等のナッツ類
などの硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類は5歳以下の子ども
には食べさせないで…

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではない
子どもは、硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類などを、
のどや気管に詰まらせて窒息したり、小さなかけらが気管に入り
込んで肺炎や気管支炎を起こしたりするリスクがあります。
また、物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたり、
声を出したりすると、不意に吸い込んでしまい、窒息・誤嚥(ご
えん)するリスクがあります。

※誤嚥は、食べ物又は異物が気管に入ること



ピーナッツ、炒り豆、**枝豆等**の豆類、アーモンド等のナッツ類
などの硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類は5歳以下の子ども
には食べさせないで…

ご家庭では、節分の豆まきは個包装されたものを使用するなど
工夫して行い、5歳以下の子どもが拾って口に入れないように、
後片付けを徹底しましょう。

兄姉がいる家庭では、兄姉が豆やナッツ類を食べている際、5歳
以下の子どもが欲しがっても与えないようにしましょう。

食べているときは、姿勢をよくし、食べることに集中させま
しょう。泣いている時に食べ物をあげるのもやめましょう。

消費者庁・国民生活センターには医療機関から、豆やナッツ類
の窒息や誤嚥(ごえん)による子どもの事故情報が
寄せられています。



園でのお散歩に
味付きジュースを水筒入れて子どもに
持たせたい保護者



意識のギャップ??

保護者の子育て力を促す
支援ってどのような支援で
しょう？

意識の凸凹を少しでも
埋められる情報提供と保護者との
関係づくり!?



1/18/2025

13

子どもと一緒に…取り組みましょう
保護者と保育者と一緒に…実行していきましょう



意識のギャップ??

保護者の成長を促す
支援ってどのような
支援でしょう？

意識の凸凹を少しでも
埋められる情報提供と
保護者との関係づくり!?



1/18/2025

14

「保育政策の新たな方向性」について

「保育政策の新たな方向性」について | こども家庭庁

全国どこでも質も高い保育が受けられ、地域でひとりひとりのこどもの育ちと子育てが応援・支援されるような社会を実現するため、今後の保育政策の在り方についてお示しする「保育政策の新たな方向性」（令和6年12月20日公表）を取りまとめました。

こどもまんなか
こども家庭庁

保育政策の新たな方向性

～持続可能で質の高い保育を通じたこどもまんなか社会の実現へ～

概要

○ 令和7年度から令和10年度末を見据えた保育政策は3つの柱を軸に推進する。

1. 地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実
【地域の課題に応じた提供体制の確保、職員配置基準の改善、虐待・事故対策強化 等】
2. 全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進
【こども誰でも通園制度、障害児・医療的ケア児等の受入強化、家族支援の充実 等】
3. 保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善
【処遇改善、働きやすい職場環境づくり、保育士・保育所支援センターの機能強化、保育DX 等】

- ☞ 全国どこでも質の高い保育が受けられる
- ☞ 地域でひとりひとりのこどもの育ちと子育てが応援・支援される
- ☞ 人口減少下で持続可能な保育提供体制を確保



待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」

質の高い保育の確保・充実

全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援

↑

こどもまんなか
こども家庭庁

1.(2) 保育提供体制の強化（職員配置基準の改善等）

現状・課題等

○待機児童対策の推進により保育の量の拡大が進む中で、質の確保・向上が求められている。保育の現場でのこどもをめぐる事故や不適切な対応事案なども発生。保育の質の確保・向上や安全安心な環境の確保のために、保育提供体制の強化を進める必要

○令和6年度には、「こども未来戦略」（加速化プラン）に基づき、制度創設以来76年ぶりに、**4・5歳児の職員配置基準**について、**30対1から25対1への改善**を図ったところ（3歳児の職員配置基準もあわせて20対1から15対1へ改善）。4・5歳児、3歳児の職員配置の改善を進めるとともに、1歳児の職員配置基準の改善についても早期に進めることが求められる

年齢	従前の基準	新たな基準
4・5歳児	30:1	25:1

○保育所等の職場環境の改善のため、保育現場へのICTの導入や保育士のサポートとしての保育補助者等の配置を推進しているところ、テクノロジーの活用や保育士以外の人材の活躍も含めて保育所等の体制を考えていくことが重要

○なお、職員配置基準については、真に必要な配置基準はどうあるべきか、科学的検証が必要との指摘があり、検証の手法やエビデンスに関する知見の収集など、研究を進める必要

こども未来戦略（令和5年12月22日閣議決定）（抜粋）

- 2024年度から、制度創設以来75年間一度も改善されてこなかった4・5歳児について、30対1から25対1への改善を図り、それに対応する加算措置を設ける。また、これと併せて最低基準の改正を行う（経過措置として当分の間は従前の基準により運営することも妨げない。）
- 2025年度以降、1歳児について、保育人材の確保等の関連する施策との関係も踏まえつつ、加速化プラン期間中の早期に6対1から5対1への改善を進める。

令和7年度以降の対応等

取組の方向性

保育の安全性と質を確保・向上させるため、職員配置基準の改善や、テクノロジーや幅広い人材の活用等、保育提供体制の強化を進める



✓対応のポイント

- 加速化プランに基づいた配置改善の着実な実施
- エビデンスに基づいた配置基準の改善の検討

【4・5歳児、3歳児の職員配置の改善の促進】

○加算の取得等により改善を促進するとともに、改善の状況を確認しながら、「従前の基準により運営することも妨げない」としている経過措置の取扱いを検討

【1歳児の職員配置の改善】

○保育人材の確保等も踏まえつつ、加速化プラン期間中の早期に改善を進める

【保育の質の確保・向上のための人員配置等の在り方の研究】

○職員配置基準に関する科学的検証の手法を検討するとともに、テクノロジーや幅広い人材の活用を含め、保育所等の在るべき体制についてエビデンスの収集を進める【R6～】

「保育政策の新たな方向性」について | こども家庭庁



○保育士等の配置改善により保育の質の確保・向上、保育士等の業務負担の軽減を実現する

【4歳以上児配置改善加算等の取得施設の割合の増加（令和8年度）】

- ◆ 「子育てをしている親と知り合いたかった」「子育てをつらいと感じることがあった」など、**孤立した育児の実態**がみられる。

なぜ、家庭支援事業の実施が必要なのですか

• 子育てを取り巻く環境について、核家族化・共働き世帯増加などの家族構成の変化、地域のつながりの希薄化等により親族や友人からの支援を受けづらい環境に置かれており、孤立感や不安感を抱えながら子育てを行っている現状があります（図1）。児童虐待の相談対応件数が増加傾向にある中（図2）、児童虐待の防止等を図り、こどもの健全な育成を図るためには、養育環境が深刻な状況になる前に、こどもが育つ家庭環境・養育環境に係る支援を提供することが求められます。

[家庭支援事業について](#) | こども家庭庁

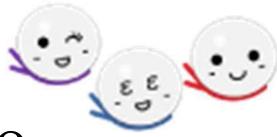
保護者の思いや悩み聴く・聴き取る重要性 その方法 場所

- 保護者のストレス増加
 - 子どものしつけが上手くいかない場合
 - 食の悩みも多く…
- 保護者の悩みを聴き取る
 - 保護者が抱える問題を理解する
- 子どもへの接し方を考える
 - 保護者支援の大きな役割？？



保護者の子育て力促す支援って
どのような支援でしょう？

保護者支援に、 母子健康手帳を 活用できていますか？



2023年4月から母子健康手帳が新しく改正されたのは、11年ぶりのことです。どこがどんなふうに変ったのか、保育者である私たちはその内容をよく知り、食支援・保護者支援に活かしていますでしょうか？

改定で、緊急性の高い項目と記録の部分が冊子に格納されて、子育て等の情報提供については、「母子健康手帳情報支援サイト」で発信されることとなった

母子健康手帳は、胎児のころから18歳までの成長発達の記録ができるものです。入園前のお試し保育あたりで1回拝見するだけで、その後は母子健康手帳を介して保護者支援をする機会がない…そんな園も少なくないのではないのでしょうか？

保護者支援に、 母子健康手帳を 活用できていますか？



母子健康手帳は2023年4月の改訂では、産後のケアや地域相談窓口の案内、父親、家族が記載する欄が追加されデジタル化も進んでいます。一方で、「健診と予防接種以外は使っていない」「成長曲線が不安をおおるのでは？」などという不安も声も少なくありません。

- 母子健康手帳別冊
 - ・ 妊婦一般健康診査受診票
 - ・ 乳児一般健康診査受診票
 - ・ 産婦健康診査受診票
 - ・ 妊婦歯科健康診査受診票
 - ・ 母子保健サービス登録票(はがき)
 - ・ 新生児聴覚スクリーニング検査受診票

食の保護者支援に大切なことって？

保護者の意志を尊重し、
信頼関係を築く

• 価値観の違いを認めつつ…

家庭環境を考慮して
適切な支援を行う

• 経済的な状況 デリケート

専門的な知識や技術を
家庭で活かせる支援環境を整える

• 家庭との連携の考え方の不一致？

子どもの成長の姿を共有する

• 園での子どもの様子をどう伝える？



2025/1/18

21

保護者との信頼関係の構築

食べることは毎日のこと 長い道のり だからこそ、保護者との良好な関係性が大事です

- 保護者とのコミュニケーション
 - 信頼関係を築くための基本
 - 相談を受ける際の重要性
- 保護者の自己決定の尊重
 - 最終的な決定は保護者に委ねる
 - 自己決定を尊重する姿勢

子どもの食から
気づく支援も
たくさん…



保護者支援は短距離ではいけない…

- 保護者が子どもに向き合えるように支援
 - 共働きの保護者が多い
 - 仕事や家事、育児で疲弊している
- 子どもとのコミュニケーション時間の確保
 - 時間が取れない保護者が多い
- ストレスの軽減
 - 子どもが思うように食べてくれない等の悩み



家庭での様子が見えないなかでの食の保護者支援は難しい…

支援にかかわる 保育者等の役割

調理職員 保育職員 事務職員
皆が同じ目線をもって…

保育者等の主な役割

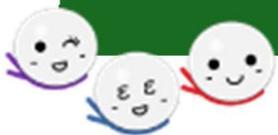
- 園に通う子どもの保育・食育
- 保護者に代わってコミュニケーションを取る
- 生活リズムを整える

保護者のフォロー

- 食育・食を通じた治療に悩む保護者をサポート
- 家庭での子どもの様子をヒアリング 園での子どもの様子をこまめに伝える
- 悩みを改善するための計画を立てる

子どもの成長の共有

- 子どもの成長を保護者と喜びを分かち合う



子どもをとりまく子育ての負担を軽減する

保護者支援の重要性

- 保護者の負担を軽減するための支援
- 保育園での給食タオルや水筒・食具の持参が負担になること

保護者の悩みを聞くことの重要性

- 子どもが食べないこと・偏食であること等に関する相談
- 保護者の気持ちを受け止めることが大切

的確なアドバイスの提供

- 解決方法の提案に留めること
- 実行は保護者の意志に委ねるべき



2025/1/18

25

連絡帳等をフル活用した保護者支援へ

連絡帳の役割

- 0歳児から2歳児までのクラスの連絡帳と3歳以上児の連絡帳の使い方
- 言語能力が未発達な子どもたちのためのコミュニケーションツール

保護者の記入内容

- 子どもの体調や家庭での様子
- 育児に対する悩みの打ち明け
- 「特にないです」の

保育士の対応

- 保護者の記入に対する返事
- 悩み相談の場合は実際に対話

連絡帳の重要性

- 相談のきっかけとなる
- 保護者からのSOSを読み取る

保育現場内だけで、保護者支援を完結するのは難しいものです。身近な社会資源（人・モノ・施設・ツール…）を有効に活用できていますか？今一度、周りを見わたしてみると、新しい施設ができた、新たな制度ができた、既存のツールが改訂されている…等、社会の子育て環境の変化に応じた保護者支援が見えてきます。



2025/1/18

26

伝え方 = どう伝わっているか どのようにうつっているか 保育者自身の感覚と保護者の感覚との齟齬

感情的な伝え方を 避ける理由

- 保護者に思いが強くなりすぎて強く伝えてしまうことは逆効果
- 保護者を追い詰める可能性がある



保護者の信頼を 大切にする

- 保護者は信頼できる保育士に相談している
- 悩んだ末に相談していることを理解する

冷静な対応の 重要性

- 感情的な態度を取らない
- 冷静に対処することで保護者をサポート

2025/1/18

27

保護者を責めることになっていないか

保護者の状況理解

- 日々の仕事や家事に追われている
- 必死で育児を行っている 経済的に厳しい

保護者を責めない姿勢

- 保護者の気持ちを否定しない
- 保護者の努力を認める

保護者支援の方法

- 保護者の気持ちに寄り添う
- 共感とサポートを提供する

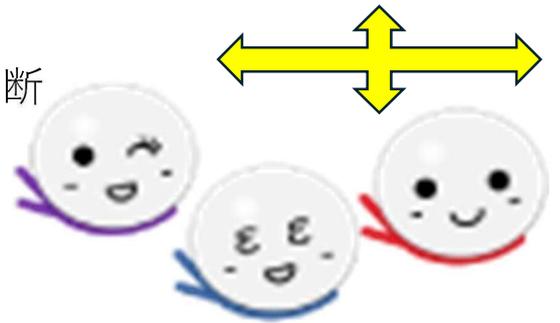


2025/1/18

28

最終的には保護者の判断に委ねる

- 保育者等からの提案
 - 保護者に解決策を提案する
 - 「保育園ではこうだから、家庭でもこうするべき」と断定しない
- 最終判断は保護者に委ねる
 - 提案を必ず実行させない
 - 解決策を実行するかどうかは保護者の判断
- 保育士の姿勢
 - 保育士も一緒に頑張る姿勢を見せる
 - 保護者の安心感を高める



2025/1/18

29



食事に関する相談

- 保護者からの相談
 - 子どもがご飯を食べてくれない
 - 連絡帳を通して相談それだけ？
- 解決方法
 - 子育て支援サービスを利用
 - 保育士の支援なしで解決する道は？それだけ？
- 解決しない場合の提案
 - 食事の時間を決める
 - 子どもが食べられる分だけ食べさせるそれだけ？



マニュアル通りに運ばないことも多い…

2025/1/18

30

自分で食べる楽しさを
引き出せているでしょうか？

食事は、楽しく正しく安全に
子どもが食べることの実感をもって
食べることができるよう、
心地よい“繰り返し“を大切に…



緊要度の高い子どもも 健常児も みんな…
個々に食べたい かたち ペース 環境がある…

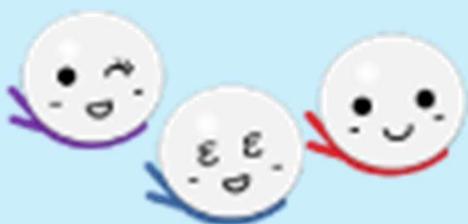
乳児の体調不良と食

- **口腔内の観察** 体調や食欲に気になる点がある時は、口の中も観察する。喉の痛み、口腔内の傷等が原因になっている場合がある。

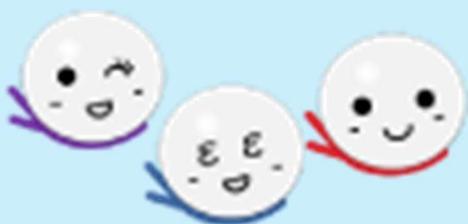
地図状舌等…



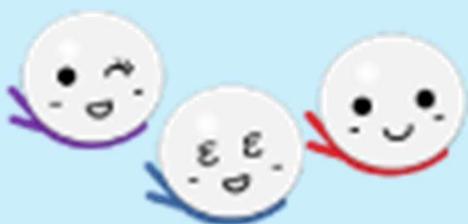
離乳期の保護者のお困りごと
食べるタイミングが合わないと
食べない？



幼児期の保護者のお困りごと
ごはんを食べない！
それも立派な成長？

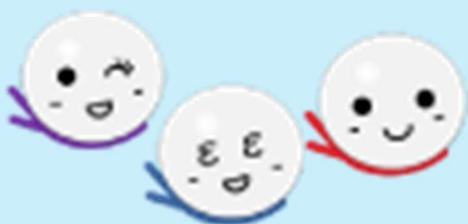


子どもに
「早く速くはやく…」
この言葉は、禁句！

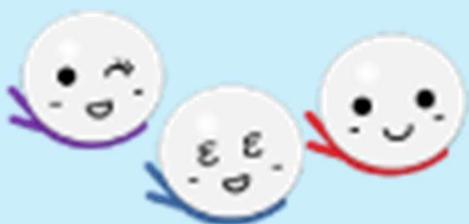


野菜嫌い・好き嫌い(; ∇ ;)
なぜ、食べない？ (; ∇ ;)

食べないには 理由がある？



行動がのんびり…
これって、いけないこと？



子どもの発達を知り
発達や家庭での育ちに沿って
子育て支援・保護者支援を
していくことが大事



生後4か月頃



- ・物に興味を示し、舐めたり触ったりして感触をじかに確認しようとする
- ・足腰の発達が進み、腰をひねったり、足を交差するなどの動きができるようになる
- ・ほとんどの乳児は首すわりが完了する

生後5か月頃の成長

- ・物を掴もうとして距離感をおぼえていく
- ・母体からもらった抗体がなくなり、感染症に罹患しやすくなる時期（病気にかかることで体内で抗体ができるが、細やかな保育が必要）
- ・興味が広がる時期のため、食べ物の色やかたち、さわりごこち、香り匂い等に普段から身近に接することが大事。
- ・自然に触れる外遊びや食育絵本の読み聞かせも、積極的にとり入れる



生後6か月頃の成長



- ・手の発達も進み、左右で別々の動作ができるようになる
- ・聴覚が発達し、生活音や声の違いを聞き分けられるようになる。「ぱりぱり・ポリポリおいしいね！」等、保育者の言葉に興味を示す。
- ・記憶力がついてくることにより、知らない人に対する人見知りが始まる。嫌な味、楽しかった食事、嫌な食環境、満たされた食経験空気感を覚えてくるころ。

生後6か月頃の成長

- ・歯が生えてくる違和感から機嫌が悪くなることがある（歯ぐずり）
→歯固めを活用して歯ぐずりの解消や歯・あごの発育をサポート



- ・歯が生え始め、離乳食が始まると味覚がぐんぐん発達していく



生後7か月頃の成長



- ・ずりばいやハイハイが可能となり、行動範囲が広がる
- ・指で、物をつまめるようになる
- ・虫歯になりやすいため、細やかな口腔ケアが必要

ずり這い=お腹を床につけたまま腕や足の力で体を引きずって移動

生後8か月頃の成長

- ・人見知り、後追いが激しくなる
- ・運動量が増える
- ・安定して支えなしで座れるようになる
- ・指を使って、より細かな動きができるようになる



生後9か月頃の成長

- ・ 『手づかみ食べ』が始まる
※嚙まずに丸飲みをしていないか注視する！
- ・ つかまり立ちが始まる乳児もいる
- ・ **言語の発達が進む**
- ・ 一人遊びや保育者を真似た動きをする



生後10か月頃の成長

- ・ 好き嫌い自己主張が明確になる
- ・ 絵本の読み聞かせや保育者等の言葉からたくさんの言葉を覚えていく。
食育への興味関心を高める絶好のチャンス！
- ・ 伝い歩きやつかまり立ち等の行動範囲が広がる
→死角での事故に注意



生後11か月頃の成長



- ・「ちょうだい」「どうぞ」等の理解できる言葉が増し、食のシーンでも、コミュニケーションをとることが少しずつできるようになる
- ・月齢の近い子どもと遊ぶことで、子ども同士の人間関係・社会性を育む。このころ、お友達が食べているものにも興味関心を示す。

生後11か月頃の成長

- ・興味をもったものを指差しで保育者に教えたり持ってきたりする
 - 「いいにおいがするおいしそうなきゅうりだね」「大きなお芋だね」「この絵本が読みたいの？」など、言葉にすることで気持ちを伝え合うコミュニケーションの基盤をつくる



生後12か月頃の成長

- ・ よちよち歩きをし始める
→転倒リスクも多いため、コーナークッション等を活用し事故防止の工夫をする
- ・ 意味を理解して言葉を発するようになる
（「マンマ」など）

生後12か月頃の成長

- ・ 自分でスプーンやコップを持って飲んだり食べたりする意欲が高まる
- ・ 視覚がさらに発達し、原色に近いはっきりとした色以外も区別できるようになってくる
（野菜や果物等の色味もよりクリアに見えるようになる）
→カラフルな食育絵本やおもちゃで遊んであげる
- ・ 自我が芽生え、自分でやりたがるが増える



生後1 - 3か月頃の成長・保育

基本的な運動機能が発達し
自分でできることが増える時期



子どもの生活の安定を図りながら、自分で
しようとする気持ちを尊重し、温かく見守る

保育の5領域

健康

人間関係

環境

言葉

表現

生後1 - 3か月頃の成長・保育

健康

- ・ 食事の喜びや楽しさを味わい、**食習慣を形成**する
- ・ 食事、午睡、遊び、休息など保育所での**生活リズムが形成**される
- ・ 着替えや手洗いを通して、身の周りを清潔に保つ習慣を身に付ける
- ・ 自分で排泄ができるように習慣付ける

・ 伸び伸びと生活し、全身を使う遊びを楽しむ

生後1 - 3か月頃の成長・保育

人間関係

- ・ 保育園での生活を通して、**食事のマナー**等決まりがあること、決まりの大切さを学ぶ
- ・ 自分の周囲にはさまざまな人がいることに気づき、他者への関心が高まる
- ・ 自分の気持ちを相手に伝えること、相手の気持ちに気付くことの大切さを丁寧に伝えていく

生後1 - 3か月頃の成長・保育

環境

- ・ おもちゃ、絵本、身近な**食べ物**等環境に親しみ、興味や関心をもつ
- ・ **食べ物や食器等を、見る、聞く、触るなどの経験を通して五感の働きを豊かにする**
- ・ 自分と他者の区別、場所の感覚など、環境をとらえる感覚が育つ
- ・ 身近な生き物や**季節の行事**に興味や関心をもつ

生後1 - 3か月頃の成長・保育

言葉

- ・ 他者の言葉に興味や関心をもって聞いたり話したりする
- ・ 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる
- ・ 保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、子どもも自ら言葉を使おうとする
- ・ 言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる

生後1 - 3か月頃の成長・保育

表現

- ・ 音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ
 - ※食べるものの、音や形、色、特に手触りに触れる機会を意識して増やしましょう
- ・ 感じたことや考え等を自分なりに表現しようとする
- ・ 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる
 - 食感覚をはたらかせる遊びや素材を意識的に用意する

生後1 - 3か月頃の成長・保育

五感に訴える保育食育で成長をサポートする時期

- ・思い通りにならないと「イヤ」と主張する
- ・心身共に乳児から幼児へ移行する期間
- ・道具や遊具で熱心に遊ぶようになる
- ・自分でやりたがるが増える半面、甘えたり癩癪（かんしゃく）を起こすことも多い
- ・2文字以上の言葉が増える



乳児保育のメリット

◎個々の発達・年齢に応じた遊びを覚えられる

リズム遊び
音に合わせて
動く・触れ合
う

**バランス
遊び**
体幹をきたえ
る・バランス
感覚を養う

造形遊び
お絵描き
粘土

**ルールが
ある遊び**
鬼ごっこ・
だるまさん
がころんだ

**指先を使う
遊び**
ひものひっぱ
り合い・
ボール転がし

**目標がある
遊び**
ボールをかご
に入れる・パ
スし合う

構成遊び
ブロック
積み木

**言葉を覚
える遊び**
おままごと
ごっこ遊び



乳児保育のメリット

◎基本的な生活習慣を身につけられる

たとえば……

食事

- ・ 食事前の手洗い習慣
- ・ 「いただきます」
- ・ 「ごちそうさま」
- ・ 食器の片付け

トイレ

- ・ 保育士介助のもと
トイレットレーニング
- ・ おむつの交換を覚える
- ・ トイレ後の手洗い習慣



乳児保育のメリット

◎集団の中で学ぶ環境に慣れる



乳児保育は、集団環境への適応を助け、学びへの意欲を高めます。食においてはそのことはとくに重要です。2019年からの保育無償化によって全国的に通園する世帯も増となっています。乳児保育から始めることで、子どもは環境によりスムーズに移行・適応し、積極性をはぐくむことができます。真似をしながら育つ時期に多くの信頼できる大人やお友達と生身で触れ食を囲むことは大事な経験です。

乳児のけがや病気 水分補給

- **食欲不振** 無理やり食べさせない。ただし、脱水症状をおこさないよう水分補給はしっかりと行う。状態に合わせて、やわらかくて食べやすい物から徐々に普通食に戻していく。
- **便秘** 水分不足（乳汁不足）、食事量の不足等、食事内容が大きく影響する。
便を柔らかくするために果汁や『マルツエキス』を使うのもよい。

※マルツエキスは、乳児の便秘症状に効果的とされる医薬品ですが、副作用や飲み合わせに注意が必要です。

うれしい



食事

おいしい

楽しい